

**Q1.** フィーチャーフォン（ガラケー）からスマートフォンへの有料会員引き継ぎですが、キャリア3社がすべて対応するのでしょうか。

A1. ソフトバンク（敬称略、以下同じ）を除く NTT ドコモ、KDDI の2社は有料会員を引き継ぐ方針のようです。当社のフィーチャーフォン向け有料会員のほぼ9割がこの2社の会員であり、フィーチャーフォンサービス終了に伴う影響はほぼないと考えています。

**Q2.** ARPU の上昇について。月額1,470円、1,780円コースの加入者が増えているということですが、これまでの500円や1,000円コースと比べ収益性はどう変わりますか？

A2. 変わりません。今までは動画視聴が MG（ミニマムギャランティー）よりも少なかったのですが、最近では MG と同程度視聴されています。今後、ハリウッド映画新作の視聴拡大により原価増大となる可能性はありますが、今のところは影響ないものと考えています。

**Q3.** ㈱メディopalホールディングス（以下「メディopal」という）との取組みについて、その状況はいかがでしょうか。

A3. クラウド電子カルテの営業については、メディopalの現場レベルに詳しい説明をさせていただき、既にメディopal経由での受注成約も出てきています。今後メディopalの営業力を発揮していただけることを期待しています。

オンライン診療サービスについては、事業開始間もないため引き続き製品開発に注力しています。営業は今期の下期以降から行う予定です。

**Q4.** 「妊活」について自治体が支援する背景を教えてください。

A4. 少子化対策は、国よりも都道府県が中心に活動している印象があります。関東圏や大都市を除くと人口減少は深刻になっていますが、当社と包括契約した都道府県について、1件目が関東圏の埼玉県、2件目が大都市を抱える大阪府であったことから、都道府県レベルの全体で注力していると思います。

以上